

ご挨拶

緑滴る気持ちの良い季節になりました。梅雨に入る前のひととき、皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。

私どもCCCは2011年3月から東北被災地への実質的支援を行い、その活動の継続を視野に2012年1月、任意団体としてCCCを立ち上げて以来、多くの皆さまから様々な形でのご支援、ご協力を頂き、たいへん心強く有難く思いながら活動を続けてまいりました。

平成25年度も、会員の皆さまからの会費、ご寄付をはじめとして、公益財団法人三菱商事復興支援財団様に多大なご助成をいただき、ほぼ計画通りに活動ができましたことを茲にご報告申し上げます。上期のご報告に於いてもお伝え致しましたように、昨年度は活動の多くを、村立草野飯樋幼稚園の約50名の園児、その保護者、幼稚園教諭の皆さま方への支援とさせていただきます。

現在支援対象とさせていただいている飯館村では、避難先で住居しながらもその地でそれまでの事業継続に気力を持たせて力を注いで居られる方、帰村の準備を具体化するための様々な施策を実行しておられる方、本当にご苦労多い中で勇気を奮い立たせ前を向いて生きる方もたくさん居られますが、一方、気力を失われた方々、お子さまの生育への大きな不安を抱える方もたいへん多く、一見落ち着いたかに見えるようですが、こころのケアはより深く現地の方々と共に探りつつ解決の糸口を見つけなければと感ずるところも大きく、地味ながら長く活動して行く決心をしております。

会員の皆さまには今後共、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成26年5月吉日

感謝を込めて・・・CCC代表

出口貴美子

♡ CCC が三菱商事復興支援財団様のHP で紹介されています ♡

CCCの活動について出口代表が取材を受けました。活動への思いを語っています。是非一度ご覧ください。

公益財団法人 三菱商事復興支援財団HP「助成先紹介」 <http://mitsubishi-corp-foundation.org/>

平成25年度下期 平成25年10月～平成26年3月 活動ご報告

Photo gallery



【平成25年度の活動 3つの柱】

★支援対象:飯館村の子どもたち

村の健康福祉課と連携し、こどものこころのケア座談会・相談会を開催し、放射線被曝の心配や「非日常」的な避難生活の中で生じるストレスに対するケアと育児や教育に関する相談を続けて行います。また、子どもたちが室内で身体を動かす「遊び」のプログラムを導入し、思い切り遊べる「場」を提供していきます。

★支援対象:発達障害の子ども

自閉症や多動児などの発達障害の早期発見と適切な療育の提供が困難となっている飯館村に、村立幼稚園児を対象に、発達健診を実施します。その徴候の見える子どもをスクリーニングすると同時に、子ども達ひとりひとりの生の声を聞くことから、現在の避難生活が子ども達の日常に及ぼす影響を調べます。結果は園の教諭の皆さまにフィードバックし日頃の教育に活かして頂きます。今後は小学校のケアも視野に入れます。

★支援対象:子どもを取り巻く大人たち

帰村の目処の立たない避難生活の中で、待たなしの子ども達の育児や教育、大所帯家族から小家族単位への分断、帰村か移住かの決断といった大きな岐路に立たされている保護者が抱える、子ども達の「今」と「未来」に関する悩み、生活の不安などによる心的ストレスを、相談会やカウンセリング、子ども達を交えた夢のあるセミナーや音楽などのイベントを通じて、少しでも解消出来るよう支援していきます。



【もこもこ玩具】



♡平成25年度 下半期 (2013年10月~2014年3月) 活動ご報告♡

♡9月13~15日 出口代表、井上副代表、第31回小児心身症医学会学術集会にて飯館村の現状を発表
出口代表が「飯館村におけるこどものこころのケア(著者 出口貴美子、井上健)」と題した発表を行いました。飯館村における計画的全村避難の現状と避難生活を送るこどもたちとその家族の現状について報告をしました。参加された医師の皆さまにも飯館の現状を認識いただけたと思います。

♡10月21日 飯館村立草野・飯樋幼稚園で人形劇や絵本の読み聞かせの会を開催しました
玩具福祉学会との共同プロジェクトとなる同学会理事で聖徳短期大学 幸田真希教授ご夫妻をCCCとして招聘。約1時間、園児全員を対象として人形劇、絵本の読み聞かせ、体操などを行いました。心身の発達への工夫がなされている有意義な内容で、子どもたちは終始集中して話を聞いて楽しんでくれました。



また、CCCは、給食の時間も通して子ども観察を行い、保護者及び教諭に対してアドバイスをさせていただきました。



♡2014年2月2日 飯館村村民集会でのこころのケア相談会を実施しました

◆今年で3回目となる「いいたて村民ふれあい集会」が行われました。CCCは初回からずっと参加しています。例年同様”こころの相談、育児相談コーナー”を担当しました。子ども達にはCCCに協力してくださっている“グループ・もこもこ”の皆さまの布で作った手に優しいアイデア溢れる玩具を持参。参加された会員の方々も子供達と一緒に賑やかに遊びました。



小児科・出口医師、精神科・井上医師、内科・佐藤医師、石塚心理士は子ども達が遊ぶ姿を見ながら、ご両親はもとより、祖父母の方々に避難生活の状況を伺ってアドバイスをしつつ、今後の活動の参考とさせていただきます。ご相談内容については、村の保健師の方に報告、適宜フォローしていただくことで連携をとっています。

◆役場の健康福祉課、教育長の職員の皆さまとCCC参加者全員とで意見交換を行い、来年度の村の方針とCCCの今後の支援の在り方について協議してきました。

♡2014年3月2日 村立草野・飯樋幼稚園 子供の発達とメディアの関係について講演会を実施しました

幼稚園の保護者日曜参観日を利用して現代社会に於いて子どもの発達に留意すべきメディアとの関係について、ご専門の七海陽教授に講演をお願いしました。保護者会では、放射能の影響から外遊びが少なくなり、室内でのテレビゲームや携帯が生活時間の多くを占めている福島県の実情に基づく幼稚園の要望を踏まえこどもの発達とメディアとの関係について研究されている相模女子大学芸学部子ども教育学科 七海陽教授を招聘しました。テーマは「子どものメディア接触における営業と大人の役割」。保護者の方々には意識を強くされたようでした。



講演される七海陽教授



一方、出口医師、井上医師は保護者会後に幼稚園の先生と園児の健康管理についての打ち合わせを実施しました。今年度から定期的な訪問の中で観察して来た発達障害の徴候を有する複数の園児に関する理解や対応、さらに小学校への情報の申し送り等についての指導を行いました。

♡2014年3月 村立草野・飯樋幼稚園に、CDラジカセ、プロジェクターを寄付しました。これまで各クラスでCDを聞きながらの授業や、講演時に不便を託っていた状況を少しでも改善できればと願い、CDラジカセ3台とプロジェクターを寄付しました。



CCCの活動が“朝日新聞 長崎版”及び“朝日デジタル”上で紹介されました

去る3月2日、朝日新聞長崎支部の記者からの取材申し込みを受け、村立幼稚園の保護者会参加と講演会実施に同行して頂き、飯館村の子どもたちを取り巻く厳しい現状とそれに寄添うCCCの活動に関する情報を発信しました。

朝日新聞 DIGITAL

長崎) 福島の人に耳傾け続けたい 震災3年

2014年3月11日09時00分

印刷 | メール | スクラップ



幼稚園で子どもたちと話す出口貴美子さん-2日、飯館村

長崎の医師と保健師が、心のケアや健康相談を通じて福島の人たちの声に耳を傾けている。2人は、69年前の原爆の投下による放射能被害を知る地で育った。あの東京電力福島第一原発の事故から3年。なお放射線への不安と向き合う被災地で、頼りにされている。

■親子の不安消したい 小児科医・出口さん

事故直後の2011年4月から、福島県いわき市や飯館村の避難所や保育園、幼稚園で、子どもの心のケアに取り組む出口貴美子さん(50)。大村市の小児科医だが、いまも2カ月に一度ほど被災地を訪れる。

3月2日には、福島市に避難している飯館村立草野・飯館(いいとい)幼稚園の仮設園舎で、40人ほどの保護者に語りかけた。「幼稚園の時期は子どもの脳がすごく発達する。最初に育つのは心なんです」。子どもにもわかるような語り口に、保護者たちが聴き入った。

出口さんは12年1月、仲間と精神科医や内科医ら10人余りと支援団体を立ち上げた。「親の不安を子どもも不安に感じるから」と、保護者の悩みに応える講座も開いている。子どもとメディアをテーマに専門家を招いた2日の講演会も、そうした活動の一つだ。

事故後の長引く避難生活で、子どもたちは外で遊ぶ機会が減った。テレビやゲーム遊びになる子も少なくない。講演を聴いた女性(39)は福島市内の借り上げ住宅で暮らす。5歳の娘には友だちが近くにおらず、家で遊ばせることが多い。女性は「ゲームではなく、絵本を読んであげようと思いました」と話した。

出口さんにとって、被災者の悲しみは、幼いころから学んできた長崎の被爆者の悲しみと重なる。「原爆と同じように、放射性物質の被害を受けた福島のために何かしないと。子

2014年3月11日 朝日デジタル に掲載された出口代表(部分)



2014年3月10日 朝日新聞長崎版 (部分)

第31回日本小児心身医学会学術集会プログラム・抄録

会期:平成25年9月13日(金)~15日(日)
会場:米子コンベンションセンター

飯館村における子どものこころのケア

日本小児心身医学会学術集会での発表(部分)

○出口 貴美子^{1,4)}、井上 健^{2,4)}

- 1) 出口小児科医院小児科、2) 同・精神科、
- 3) 国立精神神経医療研究センター疾病研究第2部、
- 4) Cocoro care for for children (CCC)

【目的】震災から2年が経過し、福島県内でも地域によりそれぞれのニーズが変化してきている。飯館村民は、特殊な状況の中、子どもたちを取り巻く環境は非常に厳しい。避難生

飯館村にお贈りした玩具、アクセサリ、ラジカセなど。少しでもこころ豊かにと願いを込めて

手に優しい玩具を制作しているのは、東京の“グループ・もこもこ”の皆さま。玩具福祉学会様のご支援くださっていることから、グループ・もこもこさんにお願ひし、たくさんの可愛い玩具を飯館村にお贈りしています。



CDラジカセとプロジェクターを寄付しました



会員の松本様から飯館の女性の皆さまへ癒しのビーズの贈物

・ ・ ・ CCC ARCHIVE (平成25年 4月～平成25年 9月) ・ ・ ・

♡4月15日 出口代表、井上副代表、飯館村菅野村長、藤井健康福祉課長、八巻教育長と今期活動について打合せ。

◇本年度CCCの支援計画を具体化、内容の吟味のために健康福祉課と擦り合せしました。

村立草野・飯樋幼稚園訪問

◇幼稚園の支援は25年度CCCの重点課題です。1月の初回会議を経てCCCとしての具体的方針を策定。CCCは小学校への支援も視野に入れて行きたいと考えてきました。



♡4月26日 出口代表が、飯館村立草野・飯樋幼稚園 父母参観時に講演。(ご参加 60名)

◇「こどもの心と身体の発達—こどものこころを育むために」と題し、こどもの脳のよりよい発達とこころの発達の関係について解説。



♡5月28日 飯館村 菅野村長が長崎県大村市にてご講演。

◇出口代表の地元長崎はご承知のように原爆の災禍を経験しています。今原発災禍の只中にある飯館村から、菅野村長にお越しいただき飯館村の現状について、大村市の皆さまにお話をいただきました。



♡7月2日 村立草野・飯樋幼稚園 祖父母参観日に矢崎滋氏(俳優)が講話。

◇お別れに、長崎県大村市で作ったアレルギー対策済クッキーをお土産にお手渡し。



◇1昨年飯館中学で演奏をしたピアニスト梯剛之「こどもに伝えるクラシック」会員の松本節子さんがこの活動を知り、自らがこころを込めて制作されたビーズのアクセサリーが飯館村に贈られました。



♡7月9日 村立草野・飯樋幼稚園 発達が気になるこどもの観察とその保護者・教諭の皆さまへのアドバイス

◇今回は小児神経科医の加我牧子医師と、昭和大学小児科の石塚心理士がご協力くださいました。

♡9月23日 村役場の関係者と下期活動について打合せ

♡9月24日 村立草野・飯樋幼稚園 発達が気になるこどもの相談と子ども達のためのミュージック・コンサート

◇ミュージック・グループNylonの徳永享氏、The Mercury Soundの薩本よしひろ氏がご協力くださいました。



・ ・ ・ CCC ARCHIVE (平成24年 1月～平成25年 3月) ・ ・ ・

Photo gallery

♡2月12日 飯館村

- ◇村民集会で、代表出口医師と副代表井上医師がCCCの紹介と活動への想いを語りました。
- ◇子どもと保護者相談会 (於：パルセ飯坂)

♡4月22日 いわき市

- ◇第4回いわきこどものこころのケア連絡会 (於：いわき市保健所)



♡6月17日 飯館村

- ◇子供の遊びとこころの教室 (於：飯野町教育会館)



♡7月22日 いわき市

- ◇第5回 いわきこどものこころケア連絡会
- ◇講演会 (連絡会主催/於：いわき明星大学講堂)
- ◇がんばっぺ！いわき こどもの心のケア～いわき市におけるこどもの心のケアを考える～



♡9月 6日 飯館村

- ◇飯館中学校仮設校舎開校式
- 全盲の世界的ピアニスト梯剛之氏による記念演奏 (CCCがプレゼント)



♡10月14日 飯館村

- ◇こどものあそびと心の相談会 (於：飯館村役場飯野出張所)
- ♪運動神経がよくなる“こどものあそび体操教室”実践と講演

♡1月28日 飯館村

- ◇飯館村草野・飯樋幼稚園視察と意見交換 (於：飯館村草野・飯樋幼稚園)
- ◇飯館村役場 健康福祉課、教育課、草野・飯樋幼稚園教諭との会議
- ♪村の復興への取り組みの現状とこどもたちの健やかな成長をどのように見守るべきか、意見交換



♡2月24日 飯館村

- ◇村民ふれあい集会 会場におけるこころの相談会 (於：飯坂温泉 パルセ飯坂)
- ♪避難先で生活している全村民が、一年に一度集まる村民集会で、“こころのケア相談会”を実施。こどもたちは手作り「ももこ」グループ制作の玩具でお遊び。



◇PEP Kids 訪問 (郡山市が展開する室内遊戯場)

- ♪2012年10月14日に連携支援を行った小児科医菊池医師が中心となって展開されている施設を訪問。今後の取り組みのご相談をしました。

3月22日 飯館村への図書寄贈

- ♪移動図書館コアラ号。
- ご要望を伺って、図書を寄贈しました。今回はこども向けと大人向けにご要望のあった図書172冊を寄贈しました。



♡ CCCをご支援ください ♡ ~事務局からのお願い~

現在会員の方々にはぜひ継続してご支援賜れば幸甚に存じます。

(振込先：十八銀行 大村支店 普通預金1045920 口座名義 シーシーシー)

CCCのHP (上記帯に記載)、三菱商事復興支援財団のHPなどご覧いただき、ご友人等CCCの趣旨にご賛同頂けそうな方にご案内願えれば尚有り難く存じます。